

議案質疑 一般質問

今期定例会では、6月12日から15日までの4日間にわたり質疑・質問を行いましたので、その主な内容をご紹介します。各議員の発言時間は、一人一律60分以内で、問答の項目は、質疑・質問の中から議員が選んだものを掲載しています。

会派代表質問

- 4ページ…… 小野 欽市 (改津クラブ)
- 5ページ…… 辻 美津子 (市民クラブ)、八太 正年 (自由民主党市議団)
- 6ページ…… 杉谷 育生 (津和会)、西山 みえ (県都クラブ)
- 7ページ…… 渡辺 晃一 (津市民の会)、坂井田 茂 (一津会)
- 8ページ…… 長谷川幸子 (日本共産党津市議団)、岡村 武 (至誠会)
- 9ページ…… 青山 昇武 (公明党議員団)

個人質問

- 9ページ…… 吉田 博康
- 10ページ…… 加藤美江子、龍神 啓介
- 11ページ…… 堀口 順也、桂 三発
- 12ページ…… 竹下幸智子、川口 和雄
- 13ページ…… 安積むつみ、滝 勝弘

会派代表質問



おの ぎん いち
小野 欽市

かいしん
改津クラブ

国道368号仁柿峠整備 と地域内産業振興は

問 美杉地域については、市町村合併当初から、最終処分場の建設に向けた地域のご理解やご協力もあり、他の地域とは違う考え方のもとで、名松線の復旧や医療分野など、行政の配慮が行われてきた。

美杉地域の課題である産業振興については、見えてきているものが少ないように感じるが、国道368号仁柿峠の整備と地域内振興についての考え方は。

答 仁柿峠については、約3.9キロメートルのうち約1.9キロメートルが整備されており、この地域は急傾斜で険しい山間部であることから、バイパスを整備するために必要な工事用道路を設ける予定と聞いている。

津市としては、関係市町村で構成する国道368号改修期成同盟会とも連携し、速やかな整備が図られるよう、引き続き、強く働きかけていく。

仁柿峠の整備により、大和・伊賀・伊勢の人と物の流れが活発になれば、交流人口の増加によって、美杉の豊かな自然や歴史などの地域資源が今以上に注目されることとなり、地域住民の意識の変化が地域の自立へとつながることで、地域の活性化が図られると考える。

●その他の質疑・質問●

- 報告第41号 津市土地開発公社の経営状況について
- 美杉地域の振興策について
 - 過疎債の活用による林業振興施策は
 - 児童虐待について
 - 働き方改革への取り組みについて
 - 合併特例債5年延長決定に伴う今後の計画は



▲狭あいな仁柿峠の現状